



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場取引所 東大

上場会社名 東邦亜鉛株式会社

コード番号 5707 URL <http://www.toho-zinc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 手島 達也

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 今井 通弘

TEL 03-3272-5614

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	51,075	7.0	1,287	△63.0	200	△94.4	5	△99.9
23年3月期第2四半期	47,736	39.2	3,483	△6.8	3,600	△6.7	6,110	216.8

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 5,448百万円 (28.1%) 23年3月期第2四半期 4,251百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	0.04	—
23年3月期第2四半期	45.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	143,691	64,594	45.0
23年3月期	141,007	60,096	42.6

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 64,594百万円 23年3月期 60,096百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	102,000	△1.6	2,300	△72.9	1,400	△84.0	500	△93.4	3.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成23年11月9日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ー社 (社名) 、 除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	135,855,217 株	23年3月期	135,855,217 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	55,901 株	23年3月期	55,228 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	135,799,885 株	23年3月期2Q	135,801,461 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
4. 補足情報	13
(1) 連結売上高	13
(2) 個別業績の概要	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災による経済活動の停滞から持ち直しつつあるなか、欧州の債務危機を背景に欧米景気の減速感が強まり、急激な円高が進行するなど、不透明な状況で推移しました。

当社グループも震災により亜鉛系2工場(安中製錬所並びに小名浜製錬所)が被災し操業停止を余儀なくされましたが、全社一丸となって復旧作業に取り組んだ結果、被害の大きかった小名浜製錬所も6月には操業を再開することができました。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、損益に大きな影響を及ぼすLME(ロンドン金属取引所)相場が、期前半は堅調に推移したものの、8月以降大幅な下落に転じました。当第2四半期連結累計期間においてLME相場の期中平均は前年同期を上回ったものの、円高により国内価格は前年同期並みにとどまりました。また、需要につきましては、亜鉛製品が自動車メーカーの減産により大きく落ち込んだものの、鉛製品は堅調に推移しました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、新たにCBH Resources Ltd.(豪州の鉱山会社、以下「CBH社」という。)が連結子会社に加わったことなどもあり、下表のとおり売上高は前年同期に比べ増収となりました。しかしながら、営業利益は震災による減産と販売減及び円高に加え、9月末にかけてのLME相場の下落によりたな卸資産の低価法評価損失が発生したこと、さらに経常利益は円高による外貨建貸付金の為替評価損失が発生したことにより、いずれも大幅な減益となりました。また、四半期純利益は震災に伴う特別損失が発生した一方で、前年同期にはCBH社の完全子会社化に伴う一過性の特別利益(同社株式の「段階取得に係る差益」や同社転換社債の早期償還による「投資有価証券償還益」)が計上されていたため、さらに減益幅が大きくなりました。

(累計)	(単位:百万円)			
	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
平成24年3月期第2四半期	51,075	1,287	200	5
平成23年3月期第2四半期	47,736	3,483	3,600	6,110
増減額	3,339	△2,196	△3,400	△6,105
増減率(%)	7.0	△63.0	△94.4	△99.9

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 製錬事業部門

当事業部門は、前述のとおり亜鉛系工場である安中製錬所(群馬県安中市)並びに小名浜製錬所(福島県いわき市)が被災し、さらに電力供給制限の影響もあり、亜鉛地金の生産量は前年同期比26%の減産となりました。

なお、鉛、銀地金等を生産する契島製錬所(広島県豊田郡)は、震災の影響がなく順調に操業を継続しました。

主な製品の概況は、以下のとおりです。

《亜鉛》

国内販売は、期前半における自動車メーカーの減産により亜鉛メッキ鋼板、亜鉛ダイカスト、伸銅等各需要分野で大幅に落ち込みました。期後半に入ると、自動車生産は回復したものの建材業界の不振が続き、当第2四半期連結累計期間の販売量は前年同期に比べ約3割減少しました。

売上高は、LME相場が前年同期比高値で推移したものの、販売量の減少と円高が響き前年同期比30%の大幅な減収となりました。

《鉛》

国内販売は、主用途のバッテリー分野では自動車用バッテリーの取替需要が堅調に推移したことに加えて、震災後の電力供給不安を背景に産業用バッテリーが伸長するなど、好調に推移しました。

売上高は、円高のマイナス要因はあったものの、LME相場が高値で推移したことと販売の増加により前年同期比25%の増収となりました。

《銀》

国内販売は、低銀化の煽りを受けたはんだ分野の落ち込みが大きく、減少しました。

売上高は、販売量の減少と円高のマイナス要因はあったものの、ロンドン銀相場が前年同期に比べ約2倍の

高値で推移したことにより前年同期比 73%の大幅な増収となりました。

以上のほか、硫酸等その他の製品の売上高を合わせた当事業部門の売上高は367億33百万円と前年同期比20億14百万円(前年同期比6%増)の増収となりました。一方営業利益は亜鉛製品の震災による減産と販売減及び円高に加え、9月末にかけてのLME相場等の下落によりたな卸資産の低価法評価損失が発生したため、71百万円と前年同期比17億70百万円(同96%減)の大幅な減益となりました。

② 資源事業部門

CBH社の操業につきましては、期前半はエンデバー鉱山での小規模なトラブル発生により生産・出荷数量が減少したものの、期後半はほぼ計画通りに推移しました。

この結果、CBH社を連結する当事業部門の売上高は31億95百万円、営業利益は鉱業権等・のれんの償却負担を吸収し、第1四半期連結会計期間の赤字を解消するに至りました。

なお、平成23年3月から開始したラスプ鉱山の開発につきましては、来年後半からの生産開始に向けて計画通りに進捗しております。

③ 電子部材事業部門

当事業部門は、先行き不透明な経済情勢のなか、競争がますます激化し販売が伸び悩み傾向にありました。

《電子部品》

震災の影響、欧米の景気後退、円高などにより電子部品の主用途である産業機器やOA機器、車載向けの売上が減少したため、売上高は前年同期比24%の減収となりました。

《電解鉄》

世界のトップシェアを誇る電解鉄(商品名:マイロン・アトミロン)につきましては、車載・電子部材や鉄鋼研究分野で需要が減退したものの、航空機向け特殊鋼の販売量が大幅に伸長したことにより、売上高はほぼ前年同期並みとなりました。

《プレーティング》

IT・デジタル機器などの接点に使用されるプレーティング製品(金、銀、錫、ニッケル等のメッキ材)につきましては、デジタルカメラや車載用のメッキ材が売上を伸ばしたものの、液晶テレビや携帯電話向けの売上が減少したため、売上高は前年同期比3%の減収となりました。

《機器部品》

主力製品のタイヤ用バランスウェイトは、米国向けやバイク用の販売で健闘したものの、粉末冶金製品が、期後半から向先の生産や在庫調整のため販売が落ち込み、売上高は前年同期比13%の減収となりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は37億25百万円と前年同期比5億29百万円(同12%減)の減収、営業利益も4億61百万円と前年同期比66百万円(同13%減)の減益となりました。

④ 環境・リサイクル事業部門

当事業部門は、前述のとおり、震災により主力工場である小名浜製錬所が一時操業を停止していたため、その業績は非常に厳しいものとなりました。

《酸化亜鉛》

電炉ダストから製造する酸化亜鉛(商品名:銀嶺R)は、小名浜製錬所の操業停止による減産と、主な向先であるタイヤメーカーへの販売が大きく落ち込み、売上高は前年同期比70%の大幅な減収となりました。

《その他のリサイクル事業》

使用済みニカド電池や廃酸の処理などその他のリサイクル事業は、小名浜製錬所の操業停止に加えて、原料の主要な購入先の被災で入荷量が減少したことにより、製品の販売が落ち込み、売上高は前年同期比37%の大幅な減収となりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は10億94百万円と前年同期比14億7百万円(同56%減)の大幅な減収、営業利益は1億45百万円と前年同期比3億38百万円(同70%減)の大幅な減益となりました。

⑤ その他事業部門

当事業部門は、防音建材事業、土木・建築・プラントエンジニアリング事業及び運輸事業などで構成されています。

《防音建材(商品名:ソフトカーム)事業》

防音建材事業は、大型病院向けX線防護材と放射線遮蔽マット向け鉛板の受注増により、売上高は前年同期比 17%の増収となりました。

《土木・建築・プラントエンジニアリング事業》

中国でのプラント工事をはじめ建築部門の大型案件の完工などもあり、売上高は前年同期比 14%の増収となりました。

《運輸事業その他》

運輸部門は、景気低迷の影響を受け厳しい事業環境でありましたが、産業廃棄物の回収・処理などの拡大に努めた結果、前年同期比 15%の増収となりました。なお、商社部門は非鉄金属製品の需要低迷などが影響し減収となりました。

以上のほか、環境分析部門を合わせた当事業部門の売上高は、63 億 25 百万円と前年同期比 66 百万円の微増となり、また営業利益は 7 億 32 百万円と前年同期比 61 百万円(同 9%増)の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第 2 四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ 26 億 83 百万円増加し、1,436 億 91 百万円となりました。これは、主として、現金及び預金は減少したものの、たな卸資産が増加したことによるものであります。

負債については、長期借入金が増加したものの、未払法人税等や流動負債その他に含まれているデリバティブ債務等が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ 18 億 14 百万円減少し、790 億 96 百万円となりました。

純資産は、繰延ヘッジ損益等の包括利益が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ 44 億 97 百万円増加し、645 億 94 百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は 45.0%となり、当第 2 四半期連結会計期間末において 2.3 ポイント上昇しております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第 2 四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ 27 億 71 百万円減少し、当第 2 四半期連結会計期間末は 99 億 63 百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、51 億 61 百万円の支出(前年同期は 64 億 98 百万円の収入)となりました。これは主として、たな卸資産が大きく増加したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、豪州ウェスタンオーストラリア州に保有していたパノラマ鉱区を売却したことにより鉱業権売却による収入があったものの、同じく豪州ニューサウスウェールズ州で行っているラスプ鉱山開発及び国内での新電解工場の建設等により有形固定資産の取得による支出などがあったため、35 億 22 百万円の支出(前年同期比 149 億 29 百万円の支出減)となりました。

これらの結果、財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れ及びコマース・ペーパーの増加により 58 億 66 百万円の収入(前年同期比 51 億 33 百万円の収入減)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成 24 年 3 月期の連結業績予想につきましては、為替相場が当初の想定より円高水準にあり、LME相場も当初の想定を下回る水準で推移していることから、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益は前回予想(平成 23 年 5 月 11 日公表)に対し減少する見込みであります。

〔通期連結業績予想〕

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	114,000	6,200	6,000	3,500
今回発表予想 (B)	102,000	2,300	1,400	500
増減額 (B-A)	△12,000	△3,900	△4,600	△3,000
増減率 (%)	△10.5	△62.9	△76.7	△85.7

〔金属価格・為替〕

	単位	前回発表予想	今回発表予想			(参考)前年度
			4～9月実績	10～3月予想	通期予想	4～9月実績
亜鉛	\$ / t	2,400	2,240	2,000	2,120	2,020
鉛	\$ / t	2,500	2,510	2,000	2,255	1,991
銀	\$ / oz	40.0	38.5	34.0	36.2	18.6
為替	¥ / \$	82.0	79.8	77.0	78.4	89.0

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,739	9,968
受取手形及び売掛金	16,746	16,020
商品及び製品	4,548	9,381
仕掛品	10,541	12,037
原材料及び貯蔵品	12,776	11,555
その他	4,727	4,223
貸倒引当金	△24	△21
流動資産合計	62,055	63,165
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,883	9,669
機械装置及び運搬具(純額)	12,699	20,227
土地	16,946	16,946
建設仮勘定	7,954	765
その他(純額)	413	502
有形固定資産合計	45,898	48,112
無形固定資産		
鉱業権	24,433	24,287
のれん	571	566
その他	77	84
無形固定資産合計	25,082	24,938
投資その他の資産		
投資有価証券	5,074	4,412
その他	3,678	3,846
貸倒引当金	△781	△783
投資その他の資産合計	7,970	7,475
固定資産合計	78,952	80,525
資産合計	141,007	143,691

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,321	6,611
短期借入金	22,509	22,482
1年内返済予定の長期借入金	2,760	3,586
コマーシャル・ペーパー	2,000	4,000
未払法人税等	1,906	282
引当金	626	198
その他	13,932	8,123
流動負債合計	51,056	45,285
固定負債		
長期借入金	17,086	21,219
退職給付引当金	2,669	2,548
その他の引当金	373	382
資産除去債務	763	804
再評価に係る繰延税金負債	5,779	5,779
その他	3,181	3,077
固定負債合計	29,854	33,811
負債合計	80,911	79,096
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,630	14,630
資本剰余金	9,876	9,876
利益剰余金	27,748	26,802
自己株式	△23	△23
株主資本合計	52,232	51,286
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	899	506
繰延ヘッジ損益	△2,371	1,108
土地再評価差額金	7,572	7,572
為替換算調整勘定	1,763	4,121
その他の包括利益累計額合計	7,864	13,307
純資産合計	60,096	64,594
負債純資産合計	141,007	143,691

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	47,736	51,075
売上原価	41,361	46,123
売上総利益	6,374	4,952
販売費及び一般管理費	2,891	3,664
営業利益	3,483	1,287
営業外収益		
受取利息	112	85
受取配当金	53	62
為替差益	313	—
デリバティブ評価益	—	79
その他	54	163
営業外収益合計	533	391
営業外費用		
支払利息	192	227
持分法による投資損失	153	—
為替差損	—	1,139
その他	71	112
営業外費用合計	416	1,478
経常利益	3,600	200
特別利益		
段階取得に係る差益	2,266	—
固定資産売却益	2	1
鉱業権売却益	—	1,037
投資有価証券償還益	3,213	—
その他	13	150
特別利益合計	5,495	1,189
特別損失		
固定資産除却損	161	147
災害による損失	—	763
その他	16	5
特別損失合計	177	916
税金等調整前四半期純利益	8,917	473
法人税、住民税及び事業税	816	248
法人税等調整額	1,990	219
法人税等合計	2,806	467
少数株主損益調整前四半期純利益	6,110	5
四半期純利益	6,110	5

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,110	5
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,841	△393
繰延ヘッジ損益	△649	3,479
為替換算調整勘定	△8	2,357
持分法適用会社に対する持分相当額	640	—
その他の包括利益合計	△1,858	5,443
四半期包括利益	4,251	5,448
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,251	5,448
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,917	473
減価償却費	1,595	2,895
のれん償却額	—	18
投資有価証券評価損益 (△は益)	4	3
投資有価証券償還損益 (△は益)	△3,213	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6	△2
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△24	△15
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△119	△121
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△368
受取利息及び受取配当金	△165	△147
支払利息	192	227
持分法による投資損益 (△は益)	153	—
段階取得に係る差損益 (△は益)	△2,266	—
鉱業権売却損益 (△は益)	—	△1,037
有形固定資産売却損益 (△は益)	△2	△1
有形固定資産除却損	161	147
売上債権の増減額 (△は増加)	△5	638
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△235	△5,055
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,117	△138
未払消費税等の増減額 (△は減少)	287	△663
その他	307	△18
小計	8,698	△3,165
利息及び配当金の受取額	344	149
利息の支払額	△363	△212
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,180	△1,932
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,498	△5,161
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,669	△4,250
有形固定資産の売却による収入	4	3
無形固定資産の取得による支出	△4	△1,370
投資有価証券の取得による支出	△3,601	△2
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△12,067	—
鉱業権売却による収入	—	2,149
貸付金の回収による収入	0	0
定期預金の預入による支出	△10	—
定期預金の払戻による収入	15	—
その他	△117	△52
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,451	△3,522

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,000	△27
長期借入れによる収入	—	6,000
長期借入金の返済による支出	△1,040	△1,040
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	10,000	2,000
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△950	△950
その他	△8	△114
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,000	5,866
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	45
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△955	△2,771
現金及び現金同等物の期首残高	12,201	12,734
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,246	9,963

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

東邦亜鉛(株) (5707) 平成24年3月期第2四半期決算短信

(5) セグメント情報等
(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	製錬	電子部材	環境・リ サイクル	計				
売上高								
外部顧客への売上高	34,719	4,255	2,502	41,477	6,258	47,736	—	47,736
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,823	118	1	1,942	2,732	4,675	△4,675	—
計	36,543	4,373	2,503	43,420	8,990	52,411	△4,675	47,736
セグメント利益	1,842	527	484	2,853	671	3,525	△41	3,483

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防音建材、土木・建築・プラントエンジニアリング、運輸、環境分析等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△41百万円には、セグメント間取引消去106百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△147百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

CBH Resources Ltd. の完全子会社化に伴い、当第2四半期連結会計期間においてのれんを627百万円計上しております。当該のれんは「資源」事業において計上され、「資源」事業は第3四半期連結会計期間以降に報告セグメントとなる予定ですが、当第2四半期連結会計期間までは営業損益が発生していないため、報告セグメントとしては扱っておりません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	製錬	資源	電子部材	環境・リ サイクル	計				
売上高									
外部顧客への売上高	36,733	3,195	3,725	1,094	44,750	6,325	51,075	—	51,075
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,515	1,749	63	0	3,329	3,076	6,406	△6,406	—
計	38,249	4,945	3,789	1,095	48,079	9,402	57,482	△6,406	51,075
セグメント利益	71	0	461	145	678	732	1,411	△123	1,287

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防音建材、土木・建築・プラントエンジニアリング、運輸、環境分析等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△123百万円には、セグメント間取引消去△81百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△41百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、「製錬」、「電子部材」及び「環境・リサイクル」の3つを報告セグメントとしておりましたが、前第3四半期連結会計期間より、CBH Resources Ltd. の完全子会社化に伴い、CBH Resources Ltd. を基礎として構成された「資源」を新たな報告セグメントとして追加しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 連結売上高

期別 品名	前第2四半期連結累計期間 〔自平成22年4月1日 至平成22年9月30日〕			当第2四半期連結累計期間 〔自平成23年4月1日 至平成23年9月30日〕			前連結会計年度 〔自平成22年4月1日 至平成23年3月31日〕		
	数量	金額 百万円	構成比 %	数量	金額 百万円	構成比 %	数量	金額 百万円	構成比 %
亜鉛製品	t 67,058	13,902	29.1	t 46,505	9,698	19.0	t 127,370	27,283	26.3
鉛製品	t 41,124	8,470	17.7	t 44,884	10,556	20.7	t 94,069	20,901	20.2
電気銀	Kg 171,332	9,144	19.2	Kg 161,564	15,848	31.0	Kg 347,807	22,701	21.9
硫酸	t 127,850	716	1.5	t 99,083	591	1.2	t 246,782	1,398	1.4
電子部品		2,131	4.5		1,611	3.2		3,890	3.8
電子材料等		2,253	4.7		2,184	4.3		4,471	4.3
酸化亜鉛		1,480	3.1		449	0.9		2,875	2.8
廃棄物処理		1,023	2.1		646	1.3		1,978	1.9
防音建材		908	1.9		1,061	2.1		1,874	1.8
完成工事高		1,521	3.2		1,926	3.8		4,279	4.1
その他		6,181	12.9		6,499	12.7		11,974	11.5
合計		47,736	100.0		51,075	100.0		103,628	100.0

(2) 個別業績の概要

1. 平成24年3月期第2四半期の個別業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	44,799	0.6	829	△ 70.5	95	△ 97.3	△ 352	—
23年3月期第2四半期	44,525	41.4	2,813	△ 14.3	3,527	△ 8.9	4,021	86.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△ 2.59	—
23年3月期第2四半期	29.61	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	124,997	56,064	44.9
23年3月期	126,164	54,277	43.0

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 56,064 百万円 23年3月期 54,277 百万円

2. 平成24年3月期の個別業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	91,000	△ 2.6	1,000	△ 88.8	100	△ 98.3	0.74